

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)

【公開番号】特開 2019-69552 (P2019-69552A)

【公開日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【年通号数】公開・登録公報 2019-017

【出願番号】特願 2017-196719 (P2017-196719)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/18 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 7/20 (2018.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

【 F I 】

B 3 2 B 27/00 D

B 3 2 B 27/18 A

C 0 9 J 201/00

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 7/02 Z

B 6 5 D 65/40 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 17 日 (2020.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外層、接着剤層、及び内層をこの順に有し、

前記接着剤層が、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤及びベンゾフェノン系紫外線吸収剤を含み、かつ、

チューブ容器に用いられる、

透明積層体。

【請求項 2】

前記ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤の量が、前記透明積層体の面積当たり、 0.10 g/m^2 以上 0.30 g/m^2 以下であり、

前記ベンゾフェノン系紫外線吸収剤の量が、前記透明積層体の面積当たり、 0.10 g/m^2 以上 2.00 g/m^2 以下である、

請求項 1 に記載の透明積層体。

【請求項 3】

前記外層及び前記内層が、それぞれ、LLDPE フィルムを含む単層構成又は多層構成の層である、請求項 1 又は 2 に記載の透明積層体。

【請求項 4】

前記内層が、PET 層を更に含む多層構成の層である、請求項 3 に記載の透明積層体。

【請求項 5】

前記接着剤層が、2 液硬化型の接着剤と、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤及びベン

ゾフェノン系紫外線吸収剤とを含む、２液硬化型の紫外線吸収性接着剤組成物の硬化物から構成される層である、請求項１～４のいずれか一項に記載の透明積層体。

【請求項６】

前記２液硬化型の接着剤の硬化剤が、脂肪族系硬化剤である、請求項５に記載の透明積層体。

【請求項７】

前記透明積層体について、測定波長２００ｎｍ～５００ｎｍ、スキャン速度６００ｎｍ／分、及びスリット幅４．００ｎｍの条件にて紫外線透過率を測定したときに、波長３６０ｎｍ、３３０ｎｍ、及び２７０ｎｍにおける紫外線透過率がいずれも５．０％以下である、請求項１～６のいずれか一項に記載の透明積層体。

【請求項８】

請求項１に記載の透明積層体の製造方法であって、
外層及び内層を、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤及びベンゾフェノン系紫外線吸収剤を含む接着剤層を介して積層することを含む、
透明積層体の製造方法。

【請求項９】

前記外層と前記内層とを、２液硬化型の接着剤と、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤及びベンゾフェノン系紫外線吸収剤とを含む、２液硬化型の紫外線吸収性接着剤組成物を用いるドライラミネートによって積層する、請求項８に記載の透明積層体の製造方法。